

ツーリングでGOGO!!インドネシア生活を楽しもう！【ペナン島】Eastern & Oriental Hotelの魅力①ホテルの周りを散歩するだけで幸福度MAXになった

2024.01.29

ツーリングでGOGO!!インドネシア生活を楽しもう！【ペナン島】Eastern & Oriental Hotelの魅力①ホテルの周りを散歩するだけで幸福度MAXになった

こんにちは、Mayuhanです！

今日はマレーシアのペナン島で泊まったホテルを紹介します。
今回紹介するホテルは、絶対にまた来たいと思ったホテルです。

名前は『Eastern & Oriental Hotel』と言います。

ペナン島に行くなら絶対に一度は泊まってほしいので、今回は3編に分け、たくさんの写真と共に『Eastern & Oriental Hotel』を紹介していきたいと思います。

ぜひ最後まで読んでください。

Contents

CLOSE

Eastern & Oriental Hotel

ホテルの歴史

レセプション・ロビー

ホテルの周りを散歩

新館（ビクトリーアネックスウィング）

アクセス

さいごに

Eastern & Oriental Hotel

イースタン&オリエンタルホテルは、ペナン島の心臓部に位置し、その豪華な設備とサービスで知られています。



まゆほん



『イースタン&オリエンタルホテル』（E&Oホテルと呼ばれている）は、北海峽の眺望を誇る、伝統と美しさを兼ね備えたクラシカルなホテルです。



まゆほん



イースタン&オリエンタルホテルは旧館（ヘリテージウィング）と新館（ビクトリアネックスウィング）に分かれています。旧館は、ホテルの伝統と歴史を感じさせるクラシカルなデザインが特徴で、歴史的な雰囲気を楽しむことができます。一方、新館はより現代的な設備とデザインを備え、モダンな快適さを提供しています。これら二つのウィングは、それぞれ独自の魅力を持ちながらも、ホテル全体の豪華さと品格を体現しています。



ホテルの歴史

『E&Oホテル』は1885年にサーキーズ兄弟によって設立されました。彼らはスエズ運河開通後のアジアへの訪問者増加を見越し、ペナン島にこのホテルを建設しました。ラッフルズ・ホテルの創業者でもある彼らは、100室の客室に電話を設置し、そのうち40室には温水と冷水を供給する浴室を備えるなど、モダンな設計を取り入れました。



当時、世界一長い建物として知られ、「スエズ以東のプレミアホテル」と称されました。このホテルは西洋と東洋の要素を融合させた建築で、現在もそのクラシックなデザインと優雅な雰囲気を保っています。また、そのスタイルはシンガポールのラッフルズ・ホテルに似ています。



例えばイギリス出身の小説家「サマセット・モーム」、ドイツ出身の小説家「ヘルマン・ヘッセ」、イギリス出身の俳優「チャールズ・チャップリン」、アメリカの俳優「ダグラス・フェアバンクス」などの著名人が滞在したことがあるそうです。

レセプション・ロビー



クラシックでエレガントな雰囲気のリセプション。

豪華な内装と伝統的なデザインが特徴で、ホテルの長い歴史と優雅さを反映しています。



また、ロビーは落ち着いた色合いと高級感のある家具で飾られており、訪れるゲストを暖かく迎える空間となっています。この空間は、ホテルの高い品質とサービスのレベルを象徴しています。

ホテルの周りを散歩

客室に行く前に、ホテルの周りを散歩してみました。



ロビーの奥から、海が見えるお庭に繋がる扉があります。イースタン&オリエンタル・ホテルに来て一番感じたことは、「窓も額縁」だということ。



まゆはん



『E&Oホテル』は、伝統あるヘリテージ・ウィングと新しいビクトリーアネックス・ウィングの組み合わせからなります。



イースタン&オリエンタル・ホテルは、白く美しいコロニアルスタイルの建物で、海辺に位置しており、青い空との美しい調和を見せています。この美しい外観は、海岸に沿って整備されたプロムナードからも眺めることができ、その壮大さが際立っています。



防波堤には著名人の手形（誰が誰だかはわからない）がたくさんあるので、行ったら探してみてください。



まゆほん



新館（ビクトリーアネックスウイング）



園庭から隣の新館（ビクトリーアネックスウィング）に行くことができます。



イースタン&オリエンタル・ホテルのドアマンは特徴的な格好をしていました。



まゆほん



アクセス

[Googleマップで見る](#)

所在地：10, Lebuhr Farquhar, George Town, 10200 George Town, Pulau Pinang, マレーシア

公式Webサイト：<http://www.eohotels.com/>

電話番号：+6042222000

さいごに

ということで、今回の記事では「Eastern & Oriental Hotelの魅力その①」ということで、ホテルの歴史や外観について紹介しました。

イースタン&オリエンタルホテルは、本当に360度景色がすばらしく、ホテルの周りを歩くだけで幸せな気分がいっぱいでした。

次回は、ついにホテルの内部や客室を紹介していきます。

「絵になるホテル」というのは、このことなのか!」ということを皆さんにもお伝えできと思うので是非次回も読みに来て下さい。

最後まで読んでいただき、Terima kasih！！